

20 富山港線軌道複線化事業の推進について

路面電車南北接続事業（第2期）の軌道延伸による所要時間増加に対応し、現在の利便性の高いパターンダイヤによる高頻度運行を継続するため、富山港線軌道区間の一部（八田橋～奥田中学校前停留場）を複線化します。

また、富山港線利用者のさらなる利便性向上を目指し、駅間距離が長いインテック本社前停留場と奥田中学校前停留場の間にバリアフリーに対応した新停留場を整備します。

このうち、富山港線軌道複線化は平成29年度末の完成を見込んでおり、引き続き、新停留場整備の推進について格段の配慮をお願いします。

< 富山港線軌道複線化及び新停留場整備 >

- | | |
|--------|---------------|
| 1 事業年度 | 平成26年度～平成32年度 |
| 2 事業費 | 約886百万円 |
| 3 事業延長 | 約340m（新停留場含む） |
| 4 事業者 | 富山市 |

富山港線軌道複線化事業位置図

